

「川越市役所庁舎に関する市民アンケート」 にご協力ください

～ みんなでつくろう みんなの市役所 ～



現在の市役所本庁舎

市役所本庁舎（市庁舎）は、市制施行50周年記念事業の一環として、昭和47年に建設されました。建設からすでに35年が経過した市庁舎は、老朽化や狭あい化などの深刻な問題を抱えています。

市庁舎は、平常時には市民の皆さんにサービスを提供し、万が一、災害が発生した場合には、防災中枢拠点として災害復旧活動の中心となる重要な施設です。しかし、現在の市庁舎は耐震診断の結果、防災中枢拠点として耐震性が不足していて、その機能

を果たすことが困難な状況となっています。耐震改修工事には、多額の費用や仮庁舎の確保などといった課題がある一方で、大幅な耐久性の向上は望めないという問題もあります。

現在、市では、これらの問題を解決するため、新しい市庁舎を市民の皆さんの利用に便利な川越駅西口の市有地（下記地図参照）に建設することを考えています。

そこで、市庁舎建設の検討を始めるにあたり、市民の皆さんの意見を伺い、今後の検討の参考とするため、下記の方法によりアンケートを実施します。

市庁舎は市の重要な中核施設です。ぜひ、市民の皆さんのご意見をお聞かせください。

調査方法

●郵送配布・郵送回収

市からアンケート用紙を郵送します。アンケート用紙が届いた方は、ご協力をお願いします。

調査対象…市内在住の満20歳以上の男女

対象者数…5,000人

選出方法…川越市住民基本台帳からの無作為選出

*アンケート用紙が自宅に届かない方でも、次の方法で意見を提出することができます。

●市ホームページ

調査対象…市内在住

●窓口配布・郵送回収

調査対象…市内在住

配布場所…市役所本庁舎1階案内・政策企画課（本庁舎4階）・出張所・連絡所・公民館・図書館

実施期間

2月15日(金)～3月14日(金)。

*なお、このアンケート調査結果は、統計データ・参考データとしてのみ使用されます。個々のアンケート結果をほかの目的で使用することは一切ありません。また、調査結果の集計および分析は、調査方法ごとに区分して行います。

問い合わせ…政策企画課・TEL224-5503



たばこの害

総合保健センター健康増進担当・TEL229-4121

たばこの煙には四千種類以上の化学物質が含まれ、このうち六十種類は発がん性物質です。また、たばこの煙は、がんだけではなく狭心症などの循環器疾患や呼吸器疾患、胃・十二指腸などの消化器疾患など、多くの疾患の危険因子でもあります。

たばこを吸わない方が、自分の意思に関係なく喫煙者の煙を吸われることを、受動喫煙といま



り多くの発がん性物質や刺激性物質が含まれています。子どもへの受動喫煙の影響としては、肺炎や

す。受動喫煙の場合、たばこの先から出る「副流煙」を吸うこととなります。この「副流煙」には喫煙者が吸う「主流煙」よ

気管支炎などの呼吸器感染症、気管支ぜんそくの発病と悪化などがあります。また、乳幼児期の受動喫煙は、乳幼児突然死症候群の危険を高めます。このように喫煙は、たばこを吸う方ばかりでなく、受動喫煙により周囲の方の健康にも悪影響を及ぼすことが指摘されています。喫煙者の皆さんは、あらためて喫煙マナーを見直しましょう。

川越の環境を守るためには？

環境教育・学習の推進

今、地球は温暖化や異常気象などの、深刻な問題を抱えています。未来の住人へ、より美しい地球を引き継いでいくために、私たちは問題をきちんと理解し、地球環境保全・創造のための活動を実践していく必要があります。

市では、第二次川越市環境基本計画の中で、「環境教育・学習の推進」を施策の柱の1つに掲げ、みずからの生活習慣などを見直し、地球環境の保全・創造のための活動を実践していく市民の皆さんを増やすことを目指しています。

市民・事業者などの皆さんが、環境を保全するための活動に自主的に取り組むためには、日常生活や事業活動と環境のかかわりを知り、自分の役割や責任を理解し、行動・参加するための力を身に付けることが必要です。

そのために市では、環境の現状や課題などを取りまとめた年次報告書を作成・公表するとともに、「川越の樹めぐり」「親子で湧水探訪」などの市民の皆さんによる身近な環境調査などを通じて収集した環境に関する情報を、ホームページや冊子などで広く提供しています。

また、出前講座・ごみ処理施設などの見学会・「星空観察の集い」などの環境ふれあい教室の開催、エコチャレンジスクール認定事業、こどもエコクラブ事業などにより、さまざまな場や機会の中で環境教育・学習を推進しています。

問い合わせ…環境政策課・TEL224-5866

Report

消費生活 レポート

153

ガラス製ティーポットの
破損

事例

・ティーポットを洗っていたところ、本体が割れ、手をガラスで切った
・熱湯を注ぐ途中で底が割れ、やけどをしてしまった

紅茶や緑茶などを入れるとき、ガラス製のティーポットを使うことがありますか？ 最近では、百円〜三百円程度で購入できる物もよく見かけます。しかしここ数年、全国で何件か、安価な耐熱性の低いガラス製ティーポットの中に、破損する事例が見られました。

消費者へのアドバイス

- ① 熱湯を入れるガラス製器具を購入する場合には、下の「耐熱認証マーク」などの表示を見て、耐熱ガラスであることを確認しましょう
- ② ガラス製ティーポットを洗う際、ガラスを傷つけないようにスポンジは軟らかい物を使いましょう。また、使用する前に、ひび・傷が入っていないか確認し、気を付けて取り扱いたしましょう



消費生活相談

生活情報センター・市民相談室分室で行っています。詳しくは、毎月二十五日発行の広報川越・市民相談案内をご覧ください。

問い合わせ…生活情報センター（アトレ六階）

TEL226-7066

（相談専用・TEL226-7476）